

消防広域化で消防力の強化 につながるのか



質問者
寺嶋 正 議員

神奈川県西部広域行政協議会では、小田原市への事務委託方式による消防の広域化を検討しており、2市6町で新たな任意協議会が設立され、23年度末までに広域消防運営計画をまとめ、25年度を目途に広域化を実現する方針を確認している。

町の財政負担が増えるのではないのか。

A 現状の消防力が低下することはない
回答（町長）

① 足柄消防組合は、国の整備指針による消防職員や消防ポンプ自動車の配置基準から見てどうなのか。広域化により消防自動車が大幅に減らされ、将来的に消防署・所の統廃合もあり得るが、消防力は低下するのではないのか。

② 広域化により、火災現場への到着時間が短縮できるのか。構成市

① 足柄消防組合の充足率は、車両が96.8%、職員が90.4%である。広域化によって署・所の統廃合はしないので、現状の部隊配置で消防力が低下することはないと考える。

② 足柄消防組合では、高機能消防指令システムを導入しているの



足柄消防組合消防署・本署（南足柄市）

で、短縮効果は余り期待できない。初期投資、設備投資にかかる

経費など試算されているが、具体的な数字は示されていない。

新たな認可保育所（園）の 選定について



質問者
鍵和田 貴実代 議員

立花愛児園が平成25年3月末をもって廃園し、新たな法人を誘致すると伺っております。11月22日の全員協議会において、今後の法人の公募について説明されましたが、次の点をお聞き致します。

- ① 公募選定のために委員会を設立することですが、委員構成はどの様に考えておりますか。
- ② 新たな法人の選定の方法と時期はいつ頃ですか。
- ③ 新たな法人が選定さ

れた場合、引継期間が必要と考えますが、どの位を見ていますか。また、それに伴う費用はどかが負担することになりますか。

A 新たな保育所は
H24年春に選定
回答（町長）

② 保育所を安定して運営している法人を対象に公募する。応募いただいた法人には、それぞれプレゼンテーションをしていただき、委員会での評価を参考に選定する。平成24年春には、新たな保育園を選定しておきたい。

① 法人選定に伴う選考委員会の構成は、保育

③ 引継期間は半年程度で、新たな法人の引継ぎに係る費用は、町が負担することになる。



新たな保育所はH 25年 4月に開園予定